

H23年度 知床五湖利用調整地区 利用状況

2011/11/9

知床財団

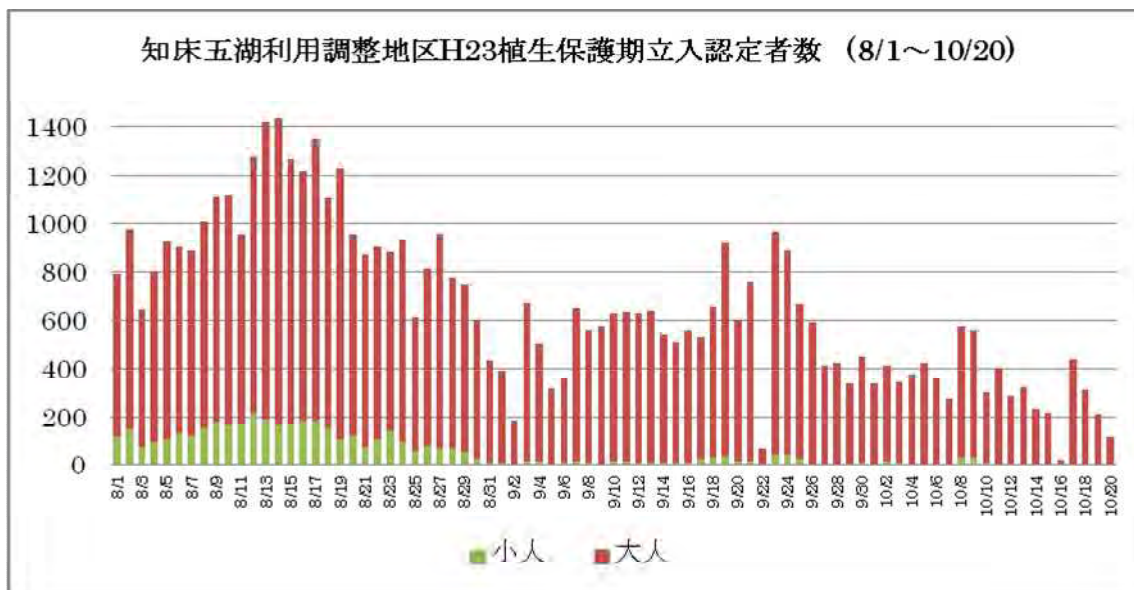
1. H23年度知床五湖利用調整地区制度の立入認定者数は59,591人で、昨年の試算における最も楽観的な予想の約130%であった。特に個人客については8月の園地利用者の55%(植生保護期平均で45%)が新制度を利用し、一定の支持を得られたと考えられる。
2. 期間中のヒグマ遭遇による遊歩道閉鎖は、ヒグマ活動期に24回、植生保護期に7回(他、台風による閉鎖1回)あったが、終日地上遊歩道が全く使えなかった日は0日で、安定的な利用を実現できた。
3. ヒグマ遭遇時の危険な事例は発生せず、ガイド引率の無い植生保護期においても、地上遊歩道閉鎖時の避難誘導等も極めてスムーズに実施することができた。利用者全員がレクチャー受講していることがヒグマとの危険回避において非常に有効であった。
4. 植生保護期において、立入数の上限(1時間当たり300人)に達した時間帯は無く、利用の平準化、自然体験の質の向上に効果があったと考えられる。

1. H23年度の総立入認定者数(ヒグマ活動期+植生保護期)

	期間	申請数	大人人数	子供人数	人数合計
ヒ グ マ 活 動 期	5月計(5/10~31)	131	592人	0人	592人
	6月計	317	1,912人	32人	1,944人
	7月計	462	3,808人	175人	3,983人
	ヒグマ活動期計	910	6,312人	207人	6,519人
	*参加者数は、人数合計 - 申請数(登録引率者の数)で、5,609人				
植 生 保 護 期	8月計	10,300	26,200人	3,725人	29,925人
	9月計	6,314	16,197人	431人	16,628人
	10月計(~10/20)	2,068	6,377人	142人	6,519人
	植生保護期計	18,682	48,774人	4,298人	53,072人
総計		19,592	55,086人	4,505人	59,591人

* 再利用券利用者、町民還元キャンペーンなども含む。

2. 植生保護期の日付毎の利用者数

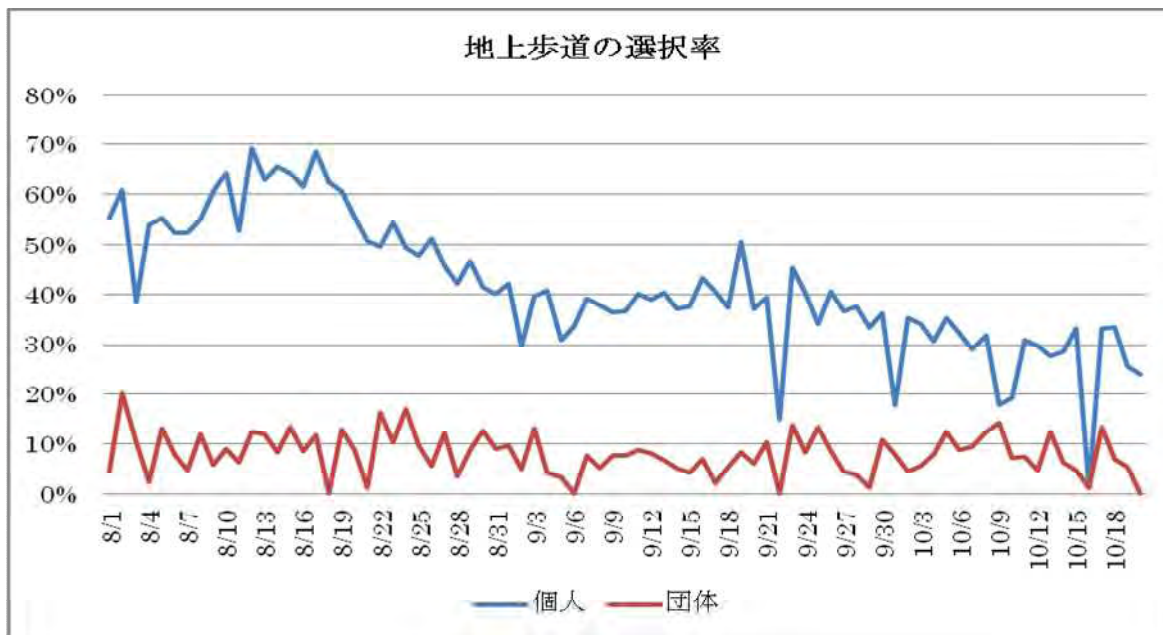


立入認定者数は期間合計で 53,072 人、1 日の平均値は 655.2 人、最大は 8/14 の 1,434 人、最小は 10/16 の 22 人（ヒグマ遭遇による遊歩道閉鎖のため）、
 小人の利用は、期間合計で 4,298 人、最大は 8/12 の 217 人であった。

3. 植生保護期の利用状況（個人客及び団体客の地上遊歩道の選択率）

園地利用者総数を車種別駐車台数から推計し、2 輪車及び乗用車駐車台数より個人客数を、マイクロバス及び大型バス駐車台数より団体客数を推計した。立入認定者についても、グループサイズ 1～10 人を個人客、グループサイズが 11 人以上を団体客と仮定して、地上遊歩道の選択率を分析した。

	五湖園地利用者数推計 (車種別駐車台数より推計)				地上遊歩道の選択率 (立入認定者の園地利用者数に対する割合)			
	個人		団体		月別	個人・団体別		TOTAL
	二輪車	乗用車	マイクロバス	大型バス		個人	団体	
8月	1,567	47,411	1,071	28,589	8月	55%	9%	38%
9月	572	35,254	736	42,119	9月	39%	7%	21%
10月	64	16,739	887	25,007	10月	26%	8%	15%
計	2,203	99,405	2,694	95,715	計	45%	8%	
総計	200,016				総計	27%		



園地の総利用者数は 200,016 人で、その 27%が地上遊歩道を利用した。
 地上遊歩道の選択率は、期間平均で個人客が 45%、団体客は 8%であった。
 団体客については、各月間での選択率は大きく変化しなかったが、個人客の
 選択率は、8月 55%、9月 39%、10月 26%と月ごとに大きく異なった。

* カウンター計測値を用いた、地上遊歩道(小ループ・大ループ)、高架木道の利用者数比較においても、同様に地上歩道の選択率が高い傾向が見られた。



4. 植生保護期の時間毎の立入数(ピークカット効果の検証)

時間毎の利用者数は、10分間隔で行ったレクチャーの受付数でコントロールし、利用の平準化を目指した。レクチャーの実施状況から時間毎の利用状況を分析する。



レクチャーの実施回数は3,692回で、1回あたり平均14.4人に対して実施。もっとも利用者の多かったレクチャー時間枠は8:40で、平均26人/1回。40名以上のレクチャーは177回実施。

- 受付手続きの不備で利用者を10分以上待たせるような事例は無く、利用ニーズの分布とレクチャーの実施状況は、ほぼ対応していると考える。



最も利用者の多かった8月について、時間毎の利用者数をH20年度と比較した左のグラフ(*詳細データは次項)より、10時台と午後の利用については減少し、高架木道利用に誘導できたと考えられる。

2011年											
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8/1	16	91	113	86	89	26	92	119	125	28	7
8/2	6	148	101	133	88	68	126	184	85	39	
8/3	23	95	105	150	57	59	139	16			
8/4				199	85	86	129	158	90	53	4
8/5	7	107	123	130	73	47	106	190	60	77	4
8/6	13	110	113	100	106	45	89	166	119	46	
8/7	16	90	111	130	70	67	109	138	90	69	1
8/8	22	150	112	120	120	63	134	96	111	84	
8/9	27	127	167	121	78	59	142	134	138	101	15
8/10	21	148	200	121	125	113	108	146	83	42	7
8/11	12	65	159	85	123	100	73	190	81	59	12
8/12	29	109	162	143	150	104	139	211	105	91	30
8/13	34	192	192	192	205	106	129	159	128	73	10
8/14	61	170	168	208	149	98	140	165	148	96	31
8/15	44	234	176	166	142	144	117	138	89	11	3
8/16	19	172	161	120	130	79	131	147	142	97	17
8/17	23	140	166	120	150	127	133	147	210	107	24
8/18	24	116	162	110	127	75	112	165	90	90	33
8/19	11	112	219	138	106	85	151	181	143	70	11
8/20	14	131	180	92	81	53	125	109	97	71	6
8/21	18	87	139	78	101	95	116	94	79	66	
8/22	17	125	93	117	83	41	150	101	100	77	
8/23	15	130	172	125	66	57	66	119	100	33	
8/24	5	61	123	115	211	40	106	148	80	47	
8/25	12	113	113	87	69	50	61	69	33	5	
8/26	9	81	131	92	91	76	109	156	54	14	
8/27	15	152	116	80	206	78	80	128	69	35	
8/28	13	116	123	68	67	33	78	113	126	42	
8/29	5	143	86	98	70	28	88	130	95	7	
8/30	5	67	76	120	102	35	57	94	31	17	
8/31	7	62	57	44	43	32	46	72	60	12	

2009年（小グループ退場者カウンター値）											
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	0	0	1	101	166	81	267	316	137	88	0
	46	96	134	74	81	57	197	293	73	89	0
	71	170	193	219	137	196	268	348	208	104	1
	26	167	245	206	174	179	288	416	244	150	2
	62	157	209	239	182	95	200	241	219	106	0
	38	169	232	161	152	185	140	323	262	109	5
	21	136	194	212	95	106	190	403	170	115	0
	47	130	186	309	125	113	236	166	216	90	5
	38	183	177	231	134	128	229	312	228	93	0
	49	164	235	214	163	225	183	299	285	162	1
	119	188	231	214	203	167	214	276	377	142	0
	67	202	246	159	248	207	216	274	250	99	0
	42	135	201	200	111	103	146	209	206	108	25
	56	155	232	250	174	148	259	315	263	116	2
	79	164	264	354	223	272	259	326	193	169	0
	38	130	178	172	103	138	209	285	198	74	0
	11	70	163	179	183	126	259	297	148	122	0
	28	178	210	168	115	128	212	449	236	116	13
	78	174	180	331	81	244	291	300	78	43	0
	17	107	54	181	54	95	252	264	126	72	0
	39	148	169	189	91	162	127	195	167	54	0
	29	120	70	107	47	151	216	225	113	94	0
	28	75	90	190	70	34	252	232	147	55	0
	10	73	105	163	123	208	287	104	126	55	0
	49	114	116	107	67	126	190	381	210	40	0
	17	138	74	223	126	98	101	244	51	71	0
	6	62	93	170	95	98	185	199	77	78	29
	6	115	47	239	98	102	222	246	134	62	0
	28	74	62	228	171	112	121	212	65	34	0
	29	63	36	73	69	46	118	175	61	64	0
	15	12	62	75	31	33	44	75	38	14	0

1時間当たり 150人～200人

1時間当たり 200人～250人

1時間当たり 250人～

5. 生保護期以降の地上遊歩道閉鎖状況

	No.	日付	時刻	場所	構成	対応	閉鎖時間		備考
							全面	大ループ	
植 生 保 護 期	1	8/3	13:50	P~D	単独	一般利用者が目撃。利用者の誘導し、 <u>全面閉鎖</u> 。大ループの利用者を逆路で誘導。翌日 10:00 全面開放。	1日		
	2	8/31	8:20	4湖付近ループ内	標識个体	朝のモニターで標識个体を4湖付近のループ内に測位。 <u>大ループを閉鎖</u> 。再調査の結果、同日 12:00 に全面開放。		0.5日	定時モニターによる事前閉鎖。
	3	9/22				台風15号による閉鎖	0.5日		
	4	10/1	11:20	J~I	単独	一般利用者が目撃。遊歩道を <u>全面閉鎖</u> 。現地調査と利用者の誘導を実施。明朝より全面開放。	1日		第一目撃者が他の利用者と速やかに引き返したため、事後対応はスムーズ。
	5	10/9	11:50	J~K	単独	一般利用者が目撃。 <u>全面閉鎖</u> とし、現地調査、利用者の誘導を実施。明朝より全面開放。	0.5日		第一目撃者は他の利用者と引き返し。
	6	10/10	11:30	L	単独	一般利用者が目撃、他の利用者と引き返し。遊歩道を <u>全面閉鎖</u> 。現地調査と利用者の誘導を実施。明朝より全面開放。	0.5日		第一目撃者は他の利用者と引き返すが、逆走していた別の利用者が再度目撃。
	7	10/14	10:20	第5湖対岸	1頭連れ親子	環境省職員が巡視中に目撃。遊歩道を <u>全面閉鎖</u> 。現地調査後、 <u>小ループの利用再開</u> 。明朝より全面開放。	0.5日	0.5日	外国人を含め、利用者の誘導はスムーズだった。
	8	10/16	8:00	I	標識个体	朝のモニターで標識个体を3湖付近に測位。遊歩道を <u>全面閉鎖</u> 。現地調査と利用者の誘導を実施。明朝より全面開放。	1日		定時モニターによる事前閉鎖。

自由利用期 (速報)	9	10/22	10:05	N~M	単独	一般利用者が目撃。遊歩道を全面閉鎖し、利用者の誘導を実施。現地調査後、 <u>小ループの利用再開</u> 。明朝より全面開放。	0.5日	1日	第一目撃者は引き返さずにクマの横をそのまま直進。通報は1時間以上後になる。
	10	10/24	10:30	I	標識個体	モニター調査で標識個体を3湖付近に測位。遊歩道を全面閉鎖し、利用者の誘導を実施。翌日10:00に全面開放。	1.5日		定時モニターによる事前閉鎖。利用者の誘導に1.5時間以上かかった。
	11	10/31	9:25	L	1頭連れ親子	ガイドが目撃。他の利用者と引き返し。遊歩道を全面閉鎖し、調査を実施。翌日再調査の結果、 <u>小ループの利用再開</u> 。11月3日10:30に全面開放。	1.5日	2日	
	12	11/6	9:25	J~K	単独	第3湖と第4湖の間のループ内で単独ヒグマの目撃があり、全面閉鎖			

- ヒグマによる地上遊歩道閉鎖は、8月に2件、9月に0件、10月に8件発生しており、10月の発生件数が顕著に多い。
- 植生保護期は、利用者全員がレクチャーを受講しているため、閉鎖時の避難誘導などがスムーズに行われている。入口で全ての利用者に、最新の情報提供、注意喚起を行えることから、閉鎖期間は短く、半日程度で利用が再開されるケースが多かった。
- 自由利用期は、レクチャーの受講義務が無いため、順路を守らない利用者も相当数あり、避難誘導にも配慮が必要であった。また全ての人に注意喚起を徹底できない等の理由から、閉鎖期間は1日以上になるケースが多く、利用機会が限定される傾向がある。